

一般社団法人日本トイレ協会  
第36回 全国トイレシンポジウム2020

2020年11月12日(木) 10:30~16:15  
東京ビッグサイト 南展示棟2ホール

新型コロナウイルス感染症への対策について、以下にご協力下さい。

- マスクの着用 ●混雑回避のための事前登録
- 頻繁な手指の消毒と手洗い ●体調不良をお感じの場合のご来場自粛

- 10:00 受付・入場開始
- 10:30 開会宣言 全国トイレシンポジウム実行委員長 谷本 亘氏
- 10:35 会長挨拶 日本トイレ協会会長 小林 純子氏
- 10:45 基調講演・基調報告
- 基調講演①三橋 源一氏(全国ビルメンテナンス協会)  
-災害時のビルメン企業の関わり方-
- 基調講演②木村 洋氏(長谷エコポレーション)  
-集合住宅の「災害時のトイレ使用マニュアル」作成手引きについて-
- 基調報告①足立 寛一氏(日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会 携帯・簡易トイレWC)  
-熊本地震から令和2年7月豪雨の被災地へのトイレ関連物資の供給、最新の災害トイレの備蓄率報告-
- 12:15 昼食・休憩 **グッドトイレ選奨投票**
- 13:15 パネルディスカッション
- 登壇者 経済産業省製造産業局 生活製品課 住宅産業室(予定)
- 三橋 源一氏(全国ビルメンテナンス協会)
- 二宮 賢司氏(千葉県市川市 危険管理室)
- 大西 正弘氏(全日本トラック協会 交通・環境部)
- 谷本 亘氏(日本トイレ協会 災害・仮設トイレ研究会)
- 高橋 未樹子氏(日本トイレ協会 運営委員会)
- 竹中 晴美氏(日本トイレ協会 運営委員会)
- 災害時の避難所のトイレを巡る問題点、感染症対策を行う際の注意点、自治体の備え等-
- 14:45 休憩
- 15:30 グッドトイレ選奨結果発表
- 16:00 総括・閉会挨拶
- 16:15 閉会

プログラム



衛生器具の適正数に関する研究  
～データから見るブース占有時間増加の要因～

コマニー株式会社 高橋未樹子 株式会社ベクトル総研 疋田篤史

◆はじめに

最近、トイレが混むと感じたことはありませんか？女性トイレは以前から並ぶことがありましたが、最近は男性トイレのブースでも、特に駅やオフィスで並ぶと耳にすることが増えてきました。3Kと言われている公共トイレが、便器が洋式になり、着替えスペースやパウダールームが設置されるなど、用を足すだけの場所から気分を変える快適な空間に変わってきています。それに伴いトイレの利用スタイルが変化し、ブースに入っている時間(以下、占有時間)も長くなっていると言われています。

そこで、現在のブース数算定基準「SHASE-S206-2009 給排水衛生設備規準・同解説」(以下、SHASE-S)の見直し検討も視野に入れ、2017~2020年にオフィスや大学、国際空港、鉄道のトイレでブースの占有時間を計測しました。その結果から、最近のトイレ利用スタイルの実態や今後のトイレのあり方について考えていきます。

◆各施設のブース占有時間(洋式便器)

オフィストイレ2か所(A、B)、大学(C)、国際空港2か所(D、E)、鉄道駅(F)のブース平均占有時間を図1に示します。同じ施設用途であってもトイレによって平均占有時間が大きく異なり、SHASE-Sより長くなっています。このブース占有時間が長くなっている要因を、以下述べていきます。

◆占有時間が長くなっている要因

①トイレの清潔さ

オフィスA、オフィスBのトイレは、同じ企業、同一敷地内の別建屋にあるトイレです。図1に示すように、男女ともオフィスBに比べてオフィスAのブース平均占有時間が約40秒長くなっています。オフィスAのトイレは改修してから10年の経過であるのに対し、オフィスBは20年以上経過した、ジメジメした雰囲気のあるトイレです。実際に利用する人からは「汚いのでさっさと出る」という声も聞かれ、キレイなトイレの方が占有時間が長くなる傾向が見られました。

②便器の洋式化

オフィスA、オフィスBのトイレには、洋式と和式それぞれのブースが設置されています。それぞれの平均占有時間を表1に示します。女性ブースでは16~26秒、男性ブースでは約26~32秒、和式に比べて洋式の方が長くなっています。

③温水洗浄便座の普及

オフィスBのトイレは、調査期間中に段階的に「冷便座→温便座→温水洗浄追加」と便座の機能がアップしていきました。その各段階でのブース平均占有時間と、洋式ブースを利用する割合を図2に示します。女性トイレは大きな変化は見られませんが、男性トイレは便座が温かくすることで13秒、洗浄機能が付加されることで更に15秒占有時間が長くなりました。また、洋式ブースを利用する割合も67.8%から77.3%に増えました。

④便所飯!?

大学Cの男子ブースにおける時間帯別の平均占有時間を図3に示します。昼休みの12時台の平均占有時間が他の時間帯に比べて飛びぬけて長い結果となりました。他の施設や同じ大学Cの女子ブースでは昼食後の排便と思われる13~14時台の占有時間が長く、これは大学Cの男子ブースにのみ見られた傾向です。「便所飯」という言葉が聞かれるようにもなりましたが、**昼休みの時間を持って余し、トイレに籠っている男子大学生がいるのかも知れません。**

◆まとめ

便器が和式から洋式になったこと、更には温水洗浄機能が普及したことで、用を足す行為自体が20~30秒長くなっています。そのため、SHASE-Sの見直しをそろそろ検討しなければいけないのではないかと考えています。あわせて、トイレのあり方も考え直さなければいけません。その施設でトイレがどのような役割を担っているのか、それはトイレでなければいけないことなのか、反対にトイレではない方がいいのか(例えば大学生が1人で過ごせる空間をトイレ以外につくるなど)、トイレ空間だけでなく施設全体で考えていく必要があります。さらに、必要以上長居(便所飯、スマホ操作など)しないなど、1人ひとりがトイレを利用する当事者として、トイレマナーを考えることも必要なのではないでしょうか。

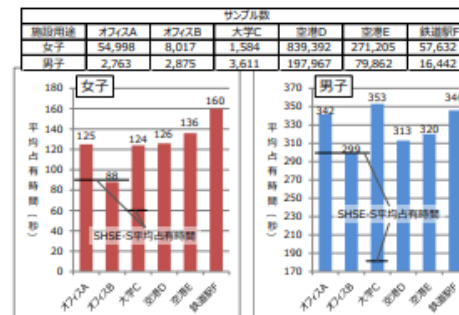


図1. ブースの平均占有時間

表1. 洋式と和式の占有時間比較

施設用途	平均占有時間(サンプル数)			
	女ブース		男ブース	
	洋	和	洋	和
オフィスA	125秒 54,998	99秒 1,354	342秒 2,763	310秒 448
オフィスB	88秒 8,017	72秒 2,500	299秒 2,875	273秒 1,381

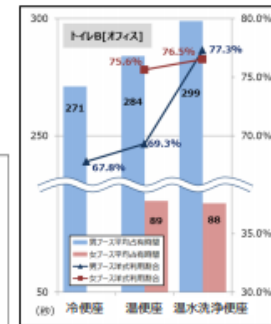


図2. 便座の影響 (オフィスB)

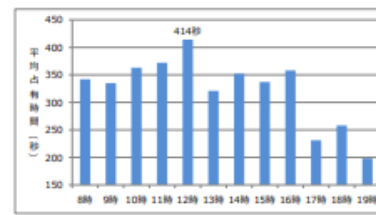


図3. 時間帯別の平均占有時間 (大学C 男子ブース)